

- ・がん拠点病院として充実を図る
外来化学療法室、がん相談支援室、
がんセンター開設記念講演会
- ・診療科紹介
整形外科～診療の特色と活動報告～

各科からのお知らせ

- ・緩和ケア講演会に参加しませんか
- ・三鷹 / 武蔵野 認知症連携を考える会の活動
- ・医療画像は CD で
- ・MRI 検査室～4 台の MRI で検査が更に充実～
- ・内視鏡室～新機種導入で安全・安心な検査を提供～

contents

がんセンター開設記念講演会

日時：平成 20 年 12 月 6 日（土）午後 3 時から
* 外来棟受付にてご案内いたします。
場所：杏林大学病院 一参加費・無料一

- ◆ 第 1 部 講演会 ・午後 3 時～
・大学院講堂（第 2 病棟 4 階）

「杏林大学病院がんセンターの
現状と診療活動について」
がんセンター長 腫瘍内科教授 古瀬 純司

《特別講演》
「我が国のがん診療の現状と
課題について（仮題）」
国立がんセンター中央病院 病院長 土屋了介 先生

- ◆ 第 2 部 懇親会 ・午後 5 時半頃開宴
・レストランガーデン（外来棟 6 階）

◆ 施設見学（午後 2 時～午後 3 時）
※ 上記の時間帯、がんセンター施設内を
ご自由に見学いただけます。



外来棟 6 階に移動した麻酔科。診察室は以前より広くなりました。

平成 17 年 5 月に、7 床でオープンした外来化学療法室も、この 11 月からは 14 床に増床される予定で工事が進んでおります。これに先立ちこの 9 月には、麻酔科（ペインクリニック）が外来棟 6 階に移動しました。今後、新しい化学療法室を効率的に運営するべく、各診療科・関係部署との連携を進めてまいります。

平成 20 年 12 月 6 日にはがんセンターの開設を記念して、施設見学、講演会と懇親会を開催させていただきますこととなりました。皆様多数のご参加をお待ちしております。



がん相談支援室はどなたでもご利用いただけますので、お気軽にご相談ください。

がん診療拠点病院として充実を図る

がんセンター長
腫瘍内科 古瀬 純司

○ 外来化学療法室

11 月より増床オープン

今年 2 月、杏林大学病院が「東京都地域がん診療連携拠点病院」に指定されたのを受け、4 月に「腫瘍センター」から「がんセンター」に名称変更し、運営を開始しています。この半年で、運営委員会によるがんセンターの運営と化学療法病棟、外来化学療法室、がん相談支援室、がん登録室、緩和ケアチーム、cancer board を柱とする体制が確立してきました。

○ がん相談支援室

資料コーナー設置

がん相談支援室も整備が進んでおります。外来棟 1 階では、毎日、がん看護専門看護師と医療ソーシャルワーカーによるがん相談を行っております。皆さんのお話を伺い、一緒に考え、安心して治療や療養をしていただけるよう各診療科や専門のスタッフと連携してお手伝いしてまいります。

診療科紹介

● 整形外科 診療の特色と活動報告

当教室には現在約 20 名の常勤医が在籍しており、本年 4 月には里見主任教授が会長の「第 37 回日本脊椎・脊髄病学会」を主催しました。

スタッフの専門別では脊椎・脊髄外科（里見教授、市村准教授、長谷川医局長、高橋助教）、骨・軟部腫瘍外科（望月教授、森井講師）、膝・肩関節外科（小谷准教授、佐々木講師）、小児整形・股関節外科（丸野助教）など、運動器のほぼすべての分野を網羅しております。特に、脊椎では内視鏡手術、レーザー治療、椎体形成術、膝関節では新しい人工膝関節の開発、肩関節の内視鏡手術などに積極的に取り組み、さらに最新のナビゲーションシステムも導入しています。また、骨・軟部腫瘍と股関節には多摩地域の中核病院として多くの症例が集まってまいります。一方、救急部にもスタッフを常時派遣するなど、関連病院とも連携した救急外傷にも力を投入しております。



運動器疾患を有する患者様の QOL を思いやる医療を提供することが、整形外科の理念です。

【杏林大学医学部付属病院】

〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
TEL 0422-47-5511（代表）
<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital>

各科からのお知らせ

●緩和ケア講演会のご案内

〔緩和ケアチーム〕

緩和ケアチームでは平成19年度より緩和ケア講演会を開催しています。今年度は、7月31日に「緩和ケアの概論」、9月25日に「がん性疼痛」をテーマに開催し、地域の多くの医療従事者の方に参加していただきました。当院にがんセンターも設立され、スタッフ一同、緩和ケア講演会の一層の充実を図って参ります。

***次回講演会は平成21年2月26日(予定)**

●第2回 『三鷹 認知症連携を考える会』

第2回

武蔵野 認知症連携を考える会

認知症を地域で支えるという目標は国の「認知症対策緊急プロジェクト」の重要な柱です。当院もの忘れセンターでは、武蔵野日赤藤ヶ崎神経内科部長、三鷹・武蔵野両医師会長、三鷹・武蔵野両市役所とともに、昨年三鷹・武蔵野認知症連携を考える会を立ち上げました。9月には行政、医師会、地域包括支援センター、基幹病院(杏林・日赤)、オプザバーとして三鷹市議が参加し、会議を行いました。会議では「認知症高齢者見守り支援事業」(武蔵野市)や、「早期発見の健診」(三鷹市・同医師会)が紹介された他、高度認知症の独居、認知症の診療拒否などの課題や基幹病院の診療予約待ちが長いという指摘、認知症に対する地域包括支援センター職員の知識不足等の意見もいただきました。これを踏まえ、当院もの忘れセンターは次の取組を行う事としました。

- ①新患者の特約料を地域包括支援センターの紹介に充当
- ②地域包括支援センター職員対象「もの忘れ教室」講義の受付
- ③行政・医療機関の情報を活用・整備し、ネットワーク強化を図る
- ④ホームページ上で情報を公開する
- ⑤ワーキンググループの連絡・連携を図る

●医療画像はCDで

〔放射線部〕

従来、当院から他の医療機関へフィルムでお渡ししていたCT、MRI、シンチグラフィ等の検査結果を、9月1日からはCDでお渡ししています。CDはDICOM(ダイコム)と呼ばれる医療画像の統一規格で記録されるため、どの医療施設でもご利用いただけます。取り扱いは簡単で、ウインドウズ・マックintoshのパソコンで閲覧出来ます。(マックintoshでは初回のみCD-RXというソフトをインストールする必要があります)

現在は各医療機関の希望に合わせてCDとフィルムが選択出来ますが、近い将来、すべての検査をCD出力に移行する予定です。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

あわせて紹介患者さんをお持ちになった、DICOM形式の医療画像CDを当院の画像システムに取り込むことが可能になりました。外来初診受付窓口で受付後、初診のカルテを作成している間に画像を取り込み、診察室の端末で画像を見ながら診療を行います。

当院にご紹介いただく患者さんでCDにて情報提供をされる場合は、初診受付にCDと紹介状をお持ちいただくようご案内ください。



医療画像CDの作成装置、コドニックス社製Virtua(写真)。CDに記録された医療画像を当院の画像システムに読み込むための装置INTEGRITYを導入しました。

●MRI検査室が更に充実

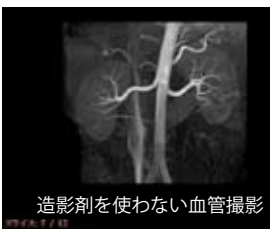
〔放射線部〕

検査室ではMRI装置を新しいタイプに更新するとともに、1台増設し、9月16日より4台体制で検査を行っています。これにより、①待ち日数の大幅な短縮、②新しい検査方法の導入などによる医療の質の向上、③患者さんに対してより優しい検査ができる、などのメリットが期待できます。新しい装置はドームの開口部が広く、奥行きも短いため開放感が増し、圧迫感が減りました。

MRI検査は、強い磁石と電波を使い体内の状態を多方向から断面像として描写するもので、痛みもなくX線を使わないので放射線被ばくもありません。また、MRI検査では造影剤を使わず簡単に血管も撮影できます。このように近年の画像診断に不可欠となったMRI検査は、特に超急性期(発症直後)の脳梗塞の発見には絶大な威力を発揮します。今後当院においても臨床の現場や人間ドックなどにおいて、大いに活躍する事が期待されます。



↑製品名の「ピアニッシモ」のとおり検査中も静かなことも新しいMRIの特徴



造影剤を使わない血管撮影

●新機種を導入

〔内視鏡室〕

内視鏡室は患者様の満足度の高い安全で正確な内視鏡検査を職員一同で心掛けております。このたび導入された最新鋭の機種をご紹介します。

①特殊光観察内視鏡システム

従来の通常光観察に加え、特殊光観察により見えにくい微細な病変を光の力でわかりやすく照らし出すシステムです。粘膜表層の血管構造や血管走行が判りやすくなり、早期がん診断に威力を発揮します。

②ハイビジョン拡大内視鏡スコープ

ハイビジョン対応で80倍ものズームが可能です。クリアで高精細な拡大観察画像が得られ、迅速・精密な内視鏡検査が実現できます。次世代の画像診断法として期待しております。

③超音波観測装置システム

内視鏡検査と同時に超音波検査が可能となるシステムです。呼吸器分野では気管や周辺臓器を超音波で観察し、穿刺により癌細胞のリンパ節転移の診断を可能にします。消化器分野では、粘膜下の腫瘍や腺疾患で、組織学的診断が可能となります。多くの患者様が安全で正確な病理診断が受けられるようになります。



このような新システム、最新鋭内視鏡機器を導入いたしました。今後の内視鏡室にご期待下さい。